

広報

しおばら

7

2012/JULY

No.88



Shobara

SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

知的遊園地へ ようこそ!

庄原で発掘されたクジラの化石やさまざまな鉱物が展示される比和自然科学博物館地学分館が7月20日にオープンします。原寸大のクジラの模型は必見です。(関連記事2～5ページ)

- 2 特集1 比和自然科学博物館地学分館へ行こう!
- 6 特集2 “地域商店街型ショッピングセンター”を考える
- 10 土砂災害防止県民の集い
- 12 紅梅通りまちなか広場がオープン
- 13 ふるさと自慢うた自慢公開録音
- 14 next 庄原さとやま博体験メニュー実施中!
- 15 国民年金保険料の免除制度をご存知ですか?
- 16 庄原市成人式
- 県立広島大学研究開発助成事業対象研究課題に新たに2件

- 17 シリーズ「庄原市まちづくり基本条例」/
シリーズ「私にもできる獣害対策」
- 18 統計調査にご協力を/安心安全な毎日のために
- 19 夏祭りに出かけよう
- 20 健康広場「熱中症に注意!」
- 21 市政トピックス
- 22 カメラレポート
- 25 お知らせ

比和自然科学博物館 地学分館 7月20日オープン

ペロケタスクジラ

モグラ博物館として親しまれている「庄原市比和自然科学博物館」に、地質に関する資料を展示する「地学分館」が完成。7月20日にオープンし、翌21日から入館できます。今月は、この地学分館の魅力に迫ります。



ペロケタスクジラの化石

原寸大のクジラ を見に行こう！



地学分館は、観光交流や自然学習の場として、多くの方に活用できる魅力ある施設となっています。

地学分館では、収集や寄贈を受けた化石や鉱物資料が展示されますが、その中でも、クジラ類の化石は世界的に見ても新種の資料が多く、この地学分館でしか見られないものも数多くあります。

魅力あるクジラ博物館

地学分館では、整備の基本理念や基本構想が取りまとめられ、同博物館に隣接する比和支所の2階を地学分館として整備。22年度から23年度にかけて展示工事を行いました。

膨大な化石資料の寄贈を受け地学分館の整備へ
平成18年には、故広瀬繁登さんが設立した「庄原子ども化石館」から約8万点にもなる貴重な化石の寄贈があったこともあり、集まった膨大な資料を活用できる、新たな施設「地学分館」の整備が検討され始めました。

平成21年に地学分館整備検討委

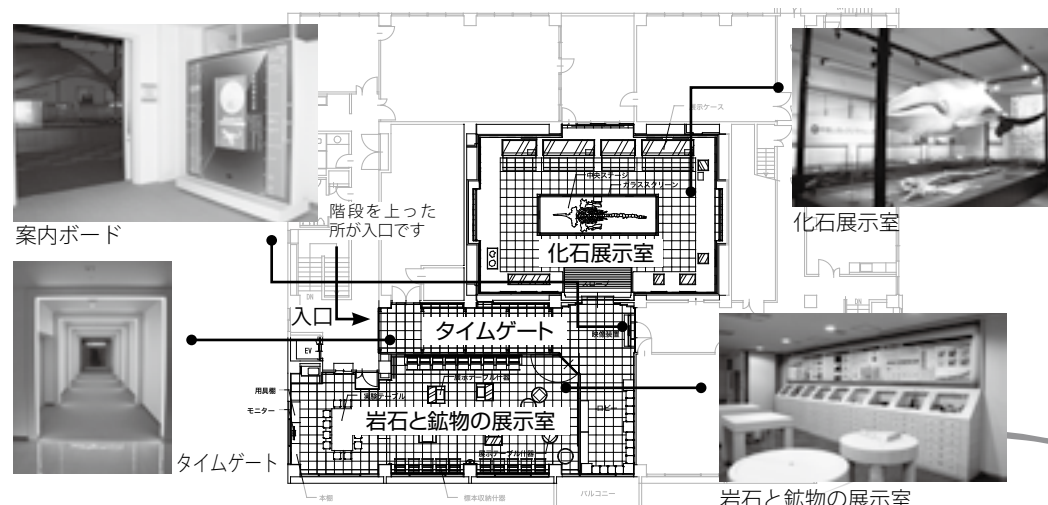
特に、モグラ博物館とも言われるほどモグラの標本数は質が高く、日本でも有数です。また、併設してある郷土文化保存伝習施設では、自然・民俗などの資料を展示しており、町内の風土に触れることができます。

その歴史は古く、昭和26年に比和小学校内に「比和町立科学博物館」が設置されたことまでさかのぼり、今日までの60年間、町内はもとより、世界中の資料を収集・保管し、世界の博物館とも提携できるまでになっています。

日本有数のモグラ博物館
比和自然科学博物館は、現在の建物が平成2年に完成し、25万点を超える動植物・昆虫類の標本などを展示する、広島県内でも数少ない自然科学系の博物館として知られています。



比和自然科学博物館・地学分館
 比和町比和1119-1
 ☎ 0824-85-3005
 時 9時～17時
 休 年末年始(12月29日～1月4日)
 料 一般(高校生以上)300円
 団体(20人以上)240円



展示資料



カキ化石

キムラホタテガイ

アメジスト

アンモナイト

オープン直前 見学会!

オープンまで残り1ヵ月と迫った6月8日、比和小学校の5・6年生がひと足早く地学分館を見学しました。



比和小学校
森岡紀子校長

実際に触れて学習できるのが魅力

目の前でクジラの原寸大の模型や発掘された骨を見て「ここが海だったんだ」と子どもたちも実感したようです。クジラが迫るような映像を見られたり、標本を自由に動かし実際に鉱物などに触れたりして学習できるので、とても魅力的な施設ですね。子どもたちも、町内に自分たちの自慢のものがまた一つ増えたと喜んでいきます。今後とも学習に役立てていきたいと思っています。



展示されている鉱物などは、一部を除き、手で触れて観察することができます。



収蔵ケースを卓台に移動し、じっくり調べることができます。



大きなクジラが
すごい迫力だったよ



井澤 克彰くん 加藤 真皓くん
梶 翔希くん 梶川 昂生くん

「大きなクジラがすごい迫力だった」「昔のクジラを知ることができた」「展示されている石は、普段触っている石とはちょっと違って面白かった」「近いのでまた来て学習したい」とそれぞれ感想を話してくれました。

インタビュー

比和自然科学博物館
館長 中村慎吾さん



全国に誇る『知的遊園地』 クジラ化石の種類、量とも日本一

「中国山地でクジラウォッチング」で
きる博物館が間もなくオープンしま
す。中国山地でクジラウォッチング?本
当に山の中でクジラを見ることができ
るの?と不思議に思われる方も多いか
と思います。全くその通りです。

比和自然科学博物館で、クジラ
ウォッチングしていただけるクジラは、
約1千500万年前の大むかし、庄原
市一帯が海だったころ、その海へ回遊し

てきていたヒゲクジラの仲間です。

30年前、西城川の川床でクジラの化
石が発見されてから、その後も次々と
発見が相次ぎ、それらのクジラの化石
が研究された結果、ヒロセヒバクジラ、ヤ
マオカクジラ、シヨウバラクジラと、ペロケ
タス属のクジラ(名前はまだついていな
い)の4種のクジラが回遊してきていた
ことがわかりました。これらのクジラ
は、イルカなどの祖先ではなく、世界最
大の動物であるシロナガスクジラの祖
先であることもわかり、これからの研
究が期待されています。

西城川の川床と新庄町という狭い
範囲で4種ものクジラが発見されたとい
う例は、庄原以外ほかにはなく、クジ
ラ化石の種類、発見された化石の量と
も日本一で、一躍全国から注目を浴び
るようになりました。

これら庄原で発見されたクジラの化
石を、多くの人に見ていただき、役立て
ようという観点から「中国山地でクジ
ラウォッチング」でできる博物館が生まれ
ました。

この博物館には、庄原子ども化石館
(掛田町 代表 廣瀬マス子さん)か
ら庄原市へ寄贈された約8万点の化
石標本、横山鶴雄博士(中本町)や藤
井守さん(呉市)、陶山礼子さん(三次
市甲奴町)、塚本清治さん(広島市)が
収集されたアンモナイトや三葉虫など

の化石標本約4千点、岩石鉱物
標本6千点が収蔵されています。

これらの標本の中から特に貴重な
もの、小・中学生の理科の学習に
必要な標本を選んで第二展示室
(岩石と鉱物展示室)に展示しま
した。庄原子ども化石館から寄
贈された化石標本は大変な量な
ので、この標本のほとんどは整理
し収蔵庫に保存しています。ま
た、岩石鉱物標本も展示できな
かったものは収蔵庫に保存し、見
学希望の方には公開しています。

新しく生まれた「中国山地で
クジラウォッチング」でできる博物館
が「知的遊園地」として皆さんに
役立つことを願っています。



中村館長の説明を興味深く聴く児童たち

口和郷土資料館



住 口和町永田9
☎ 0824-87-2230
時 9時～17時
休 毎週火・水・金・日曜日
年末年始(12月29日～1月4日)
料 無料

最新情報機器の原点であ
る蓄音機や電話機などのア
ナログ機械を始め、開発期
からの多様な音声・映像機器
など多数展示しています。触
れて体験・体感できるもの
がいっぱいです。

◆ここがオススメ!
16ミリや35ミリの映写
機、64席を備える本格的な
映画館「ふれあいシネマ」。不
定期上映なのでお問い合わせ
のうえ、お見逃しなく。

庄原市帝釈峡博物展示施設 時悠館



住 東城町帝釈末渡1909
☎ 08477-6-0161 時 9時～17時
休 毎週水曜日(祝日の場合は開館、翌
日は休館)
料 年末年始(12月29日～1月4日)
一般(高校生以上)400円
団体(20人以上)320円
中学生以下無料

帝釈峡岩陰遺跡群の出土遺物
を中心に、石灰岩台地特有の動
植物や東城地域の民俗文化財
などを展示しています。1万2000
年前の「無文土器」や固有種の陸
貝「タイシャクギセル」など、珍
しい博物資料がいっぱいです。

◆ここがオススメ!
入場後エレベーターから降り
ると目の前に「時空旅行のトン
ネル」が現れるぞ。さあ縄文時
代にタイムスリップしてみよう!

庄原市田園文化センター



住 西本町2丁目20番10号
☎ 0824-72-1159
時 10時～17時(図書館は19時まで)
休 毎週火曜日
(祝日の場合は開館、翌日は休館)
年末年始(12月29日～1月4日)
料 無料

皆さんの生涯学習を援助す
る図書館、郷土の作家倉田
百三の資料を整備・展示した
倉田百三文学館、歴史民俗資
料館、展示ギャラリーなどに
利用できる多目的ホールがあ
る複合文化施設です。

◆ここがオススメ!
本市出身の倉田百三が残し
た約400点の作品が観覧で
きます。市内には、百三ゆかり
の場所もあり、そこを訪ねて
みるのもおすすめです。

☆市内の文化施設を巡ってみよう
市内には比和自然科学博物館以外
にも、貴重な資料が収められて
いる文化施設がいくつもあります。
夏休みの自由研究などで利用する
のもひとつ。「知っていても行
ったことがない」という方は、
新しい発見があるかもしれませ
ん。身近で芸術、歴史、文化に
触れることができますので、夏
休み期間中に親子での利用な
どいかがでしょうか。

今年の夏休みは 文化施設巡りがオススメ

にぎわい再生を目指す
ウイル西城は、地域の人が買い物を楽しむ場であると同時に、公共的施設を併設したコミュニティ活動の場という側面もあります。1階は日常生活品

景気の低迷による地域商店街型SC存続の危機という全国的な流れは、本市にも大きな影を落としています。西城町の中心地にある地域商店街型SC「ウイル西城」は、かつてない厳しい状況に直面しています。

ウイル西城は平成9年にオープンし、地域住民の身近なSCとして親しまれてきました。しかし、人口の減少や市内に大型店が出店したことなどにより来店者数が減少、当初12店舗あつたテナントも今は6店舗にまで減り、SCとしてのワンストップサービス機能が失われつつあります。ウイル西城を施設管理している西城町産業振興開発(株)は、この機能を維持しようと直営でサービスを提供。各テナントは人件費などあらゆる経費を圧縮し、この4月からは年中無休で営業していますが、来店者の増加にはなかなか結びついていません。

あるテナントスペース、2階は300人が収容できるホールなどの公共的スペースがあり、駐車場も完備しています。

現在、1階にある休憩スペースを活用し、産直市「五の市」を開催。食品売り場では、毎月新商品の検討会議を行い、ここでしか手に入らない商品の開発や販売を目指しています。また、2階ホールと1階テナントスペースを連動させる仕組みづくりなど、多角的な施設の利用も模索しています。

西城町産業振興開発(株)代表取締役の岡下清次さんは「観光情報サービスや土産物販売コーナーの充実など、市外からの観光客が立ち寄りたいと思える仕掛けにも取り組みたい」と話しています。『ウイル西城の顧客は地域住民。地域の発展や住みやすいまちづくりへ貢献することがウイル西城の強みになる』。この思いを胸に、住民から必要とされる地域商店街型SCとして営業努力を続けます。



写真はイメージ

市内地域商店街型SCの独自の取り組みを紹介

市内にある地域商店街型SCの経営は厳しい状況にありますが、それぞれが地域に密着した取り組みを行い、住民が利用しやすいSCを目指しています。

地域のお年寄りにやさしい「食品宅配サービス」



トーエイ(東城)

買い物に出かけるのが困難な地域の高齢者をなんとかしてあげたい。その思いから、宅配業者と提携し「トーエイネットスーパーおつかい便」を、平成22年11月から開始しています。

電話、ファックスでも注文を受け付け、注文された生鮮、食料品などは翌日までに自宅まで配達されます。利用者からは「車がなくても色々な商品が買えるのでうれしい」と好評。

代表取締役の宮永壽夫さんは「事業の手ごたえを感じている」と話しています。

声掛けで安否確認「移動販売車」



ウイル西城

平成22年7月から西城町全域を対象に移動販売車(あんしん号)の運行を始めました。町内を移動しながら高齢者に声掛けをし安否確認を行う「見守りの役割」も担っており、利用者からは「ウイル西城の移動販売車なので安心して買い物ができる」と好評です。

代表取締役の岡下清次さんは「移動販売車が好調なほど、来店者の機会が減るとい現実もある。移動販売車も喜ばれ、来店者も増えるのが理想」と話しています。

子育てをサポートする「アメニティ機能」



ジョイフルながえ(庄原)

ジョイフルながえでは「にぎわい創出」「人が集まるきっかけづくり」「アメニティ機能の強化」をキーワードに、三日の市の開催や歯科医院のオープンなどに取り組んできました。

「子どもの遊び場が欲しい」という声に応え、今年の6月、子育てサポートステーション「あいあいキッズ」をオープン。

理事長の宮崎良治さんは「利用者から安心して買い物ができると喜ばれているので継続したい」と話しています。



地域商店街型ショッピングセンターを考える

日本の人口は平成18年をピークに減少に転じ、超高齢化社会が到来しています。また相次ぐ大型店舗の出店などにより、今まであつた「地域商店街型ショッピングセンター」の経営がさらに厳しい状況に陥っています。

もし、「地域商店街型ショッピングセンター」がなくなったらどうなるのでしょうか。単純に「困る」「不便になる」だけでない問題があります。

今月2つ目の特集は、市内の「地域商店街型ショッピングセンター」(以下、地域商店街型SC)を取り上げ、地域社会に果たすべき役割と課題解決に向けた取り組みについて考えてみます。

※超高齢化社会…65歳以上の高齢者の占める割合が全人口の21%を超えた社会

かつてにぎわった商店街は今、高度成長期、日本の商店街は活気であふれ、一日中人の流れがありました。しかし、現在は、人もまばらで閑散とし、シャッターを下ろしている店舗も多く、かつてのにぎわいを失った商店街が全国各地で増えています。

衰退の原因はどこにあるのか

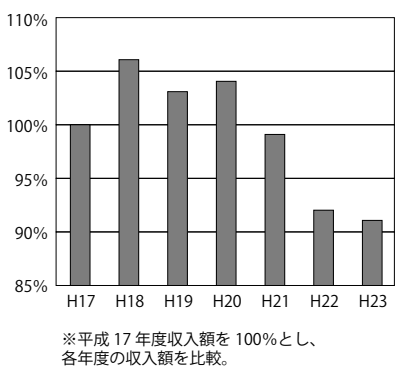
商店街は、交通の要所に店舗が集まることによって繁栄してきました。しかし、車社会の到来により交通の要所が変化し、大型商業施設へ人の流れが移ったことが衰退の一因だと指摘されています。加えて、少子高齢化、人口減少による購買力低下、インターネットなどの情報通信網や輸送サービスの発達、商店の後継者不足など、さまざまな要因があると考えられます。

希望の地域商店街型SCも存続の危機に

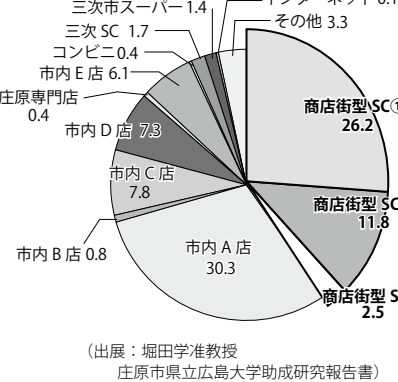
そういった中、地域の商業者は、購買力の流出を防ぎ、集客力を高めるため、大型店が持つワンストップ・ショッピング機能や利便機能を持たせた共同店舗(地域商店街型SC)を設置し、一定の集客を確保し経営を維持してきました。

ところが、今、地域の人に長く親しまれてきた地域商店街型SCも厳しい経営状況に陥っています。

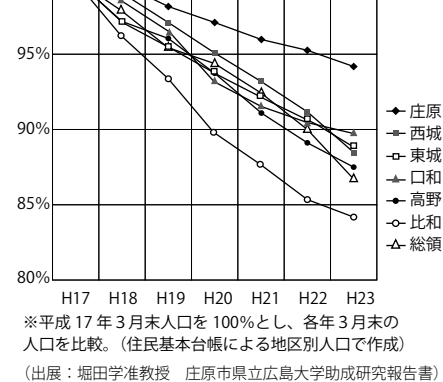
■市内商店街型SCの一部店舗の収入額推移



■店舗別買い物行動の実情



■庄原市の地域別人口の推移





堀田 学 さん

SCの活性化はまちづくりそのもの

■プロフィール
県立広島大学生命環境学部准教授、農学博士。昭和40年奈良県生まれ。平成7年に京都大学大学院農学研究科博士後期課程修了。日本学術振興会特別研究員を経て平成13年から現職。著書に『青果物仲卸業者の機能と制度の経済分析』農林統計協会、2000年(単著)など。農産物の流通研究から商店街にも目を向けた研究にも取り組む。

伊藤 「ウイル西城」の付近には、西城支所やまちづくりセンター、体育館や温水プールなどの体育施設、病院、保育所などの施設が集まっており、ここに出入りする人が自らの活動を促進させるために「ウイル西城」を「まちの駅」として利用してもらえる仕組みづくりが必要だと思っています。人が集

会話と交流が生まれる。そういう地域の魅力が伝わっていくことが「まちの駅」の目指す方向だと思っています。

堀田 地域のSCの活性化は商店街の活性化でもあり、まちづくりそのものです。どういうまちにしたいかという住民の意識があつたうえで、理想的なSCに作り変えていく必要があります。まず基本は住民だということです。が、今日の結論だと思っています。

高橋 西城地域に限らず、まちづくりに答えはないと思います。できることから一つずつ実行し、良いものは吸収して悪いものは反省する。そうやって試行錯誤しながら一歩ずつ前に進んでいくしかありません。ただ高いハードルを作つても取り組みにくたびれてしまい、次に続かなくなつては意味がありません。みんなが楽しみながら自分のまちはこうしていきたいんだ、という取り組みが重要だと思っています。

地域SCの活性化には“住民の意識”が大切

地域商店街型SCの活性化には何が必要か

もし地域商店街型SCがなくなれば、単に買い物ができず不便になるだけでなく、地域そのものが一気に寂れてしまうことが懸念されます。

地域商店街型SCをどう活性化していくかをテーマに、堀田学県立広島大学准教授、西城アイデア創出事業協議会会長伊藤郁夫さん、高橋利彰事業担当副市長に対談をしていただきました。



堀田 西城では「ウイル西城」を中心とした活性化について、具体的にどういった取り組みをされていますか。

伊藤 備北商工会内にアイデア委員会を設置し、将来に向けてどのように西城を活性化していくのか議論しています。そのなかで「まちの駅」ヒバゴンの里エリアという構想が生まれました。これは「ウイル西城」を核に観光サービスと住民サービスを併せ持つ「まちの駅」として行政、住民、農業、商業が連携する仕組みをつくるということです。西城の活性化に向けた思いを実現させていきたいと考えています。

まちの駅の魅力は地域の人で輝く



高橋 利彰 副市長

高橋 中心市街地が衰退しているなかハードの整備も大切ですが、それ以上にソフト面が大切です。町全体をどうするのか。それには市民の皆さんが自ら考え、できることから実行し、成功体験を積み上げることが大切だと思います。

堀田 地域のSCは量販店にも見えますが、実は立体的な商店街であり、まちづくりと目的は変わらないと思います。物を売るということよりも、ま

化していくと考えますが、いかがですか。

高橋 人口減少により利用客が減るのは避けて通れない現実です。ですから新しい発想で、地域がSCを育てるという考え方が大切です。「まちの駅」をいかに魅力ある施設にしてい

は、地域の人だと言えるでしょう。特に買い物をするわけではないが、休憩スペースにいつも地域のおじいちゃんやおばあちゃんが集まる。自然と地域のお母さんや子どもたちが集ま



伊藤 郁夫 さん

観光・住民サービスを提供するまちの駅に

■プロフィール
昭和33年大阪市生まれ。昭和61年9月に妻の故郷西城町へ帰郷。西城ふるさと祭実行委員長など活躍。現在は、備北商工会理事、西城アイデア創出事業協議会会長として、西城町の活性化に取り組んでいる。西城町中野在住。

3つのSCが研究会を発足

ジョイフルながえ、トイエイ、ウイル西城の3つのSCは、共通する問題や課題を抱えていることから、昨年度『SC研究会』を立ち上げ、勉強会の実施や合同イベントなどを企画・検討しています。

その中から、共通のポイントシール商品券「わくわくシールお母さんサックスフェア」を企画し、5月10日から20日までの10日間実施しました。急激な売上増が見込まれるものではないものの、3つのSCが協調した初めての取り組みであり、今後の活動に期待が寄せられます。

産学官連携でSCを支援

産業界、大学、行政などが連携し、産業振興や地域の活性化を目指すことを目的に活動している「しょうばら産学官連携推進機構」は、市内事業者が行う地域資源を活用した新商品の開発や販売促進

マーケティングを支援しています。

前述の「わくわくシールお母さんサックスフェア」もそのひとつです。

地域特性を活かした新産業の創出、地域課題の解決など、SCを含めた地域活性化へ、こうした産学官連携の取り組みにも注目が集まっています。

あとがき

今後も、庄原市の人口減少は進み、マーケットは確実に縮小していくと考えられます。これまでの経営戦略やマーケティング手法にはない、発想の転換による新たな価値の創造と顧客の獲得が求められています。

ジョイフルながえが中心に開催する「三日の市」は、近隣の商店との連携、手作り雑貨などのさまざまな出店もあり、市街地のにぎわいづくりにも貢献しています。

こういった取り組みの拡大が、地域課題解決に向けたひとつの方向性と考えられます。いま一度、地域商店街型SCが果たす役割や、地域商店街型SCを地域で育てるといった視点で考えてみる必要があるかと思っています。

土砂災害防止県民の集い in 庄原市民会館

土砂災害の防止および被害軽減のため、国民の関心と認識を深めることを目的に、毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、取り組みが実施されています。

広島県では、取り組みの一環として「土砂災害防止県民の集い」を毎年開催しており、本年度は6月8日に庄原市民会館で開催されました。

その内容の一部をご紹介します。

(編集上敬称を省略しています。)



広島県土木局長
高垣広徳

総合的な対策に全力をあげる

本県は急峻な山地や丘陵地が4分の3を占め、地形的・地質的に土砂災害の発生する危険箇所も約3万2千カ所と全国で最も多い。土砂災害から県民の皆さんの生命財産を守るため、社会資本未来プランに基づき、計画的に砂防施設や急傾斜地崩壊防止施設などの整備を進めていく。さらに、インターネットでの情報提供などソフト対

策も併せ、総合的な対策に全力をあげて取り組んでいる。

この集いは、土砂災害防止に関する防災知識の普及、警戒体制の整備の促進などを強力に推進することを目的に開催するもので、土砂災害に対する理解と関心を深めていただく有意義なものになることを期待する。



庄原市長
滝口季彦

地域・行政が一体となって取り組む

平素から関係各位のご支援ご尽力

に感謝申し上げる。

2年前のゲリラ豪雨は、一人の尊い命を奪っただけでなく、大切な財産、人々の営みや多くの思い出なども一瞬にして押し流し、人は無力だと改めて思い知らされた。しかし、その苦難から立ち上がるのも人の力だ。

本市はこの災害を教訓に、防災マニュアルを見直し、ハザードマップを新たに作成した。各地域の自主防災組織の立ち上げと活動に対する支援を行い、地域と行政が一体となつてさまざまな取り組みを行っている。地域防災と災害への危機管理意識を高め、住みよいまちづくりを進めていく。

『近年の土砂災害の特徴と警戒すべき誘因』

雨が降り続き地盤が緩んでいると考えられるとき、その後の短時間強雨で土砂災害の多発につながる例が多い。雨量が100ミリを超えると崩壊が増え始め、200ミリを超えると著しく増加、さらに時間雨量が30ミリ以上加わると、土石流などが集中発生する傾向が見られる。近年の雨の特徴は、短時間に集中的な強雨が増加傾向にあり、7月まではものすごく雨が多かつたのに、8月になると雨がまったく降らないというのもひとつの特徴で

ある。広島県は土砂災害発生危険度、特に土石流や急傾斜地崩壊などによる災害危険箇所数は全国一多い県だ。そういうところに住んでしまっているということを知っておくことが必要だ。そして、災害による犠牲を減らすためには、災害の体験談を聞くこと、降雨などの情報を収集する習慣を身に付け、集めた情報の意味を知り活用する練習をすること、異常事態の想定に基づく防災訓練や安全の前提条件を定期的にチェックすることも必要だ。何より生きがいを感じられる生き方、豊かな生き方を追及することがとても大切と思う。

防災とは、自然現象そのものをなくすことではなく、それが大きな災害につながらないようにすること。自然に親しみ、異常時には前兆を感じ取れるようになることが最大の防衛になる。災害を引き起こす原因をなくしたり、自然的な素因を変えてしまったりすることはほとんど不可能に近い。私たちは、社会的な素因をどう減少させるかというのが重要だ。災害が同時多発するようなきは、行政側の防災対応だけでは不十分であり、自主防災活動や自主避難などが必要だ。私たちは、こういった集会などの機会に災害の教訓を伝えていかなければならない。

基調講演

広島大学大学院
総合科学研究科 教授

海堀 正博



庄原市口和支所長

清水 孝清



『7・16 庄原ゲリラ豪雨を ふりかえって』

庄原ゲリラ豪雨は非常に狭い範囲で被害が集中的に発生した。前日までの累積雨量は260ミリに達し、被災地の山々はすでに飽和状態となっていた。16日の午後3時から7時までの雨量は、川北観測所で125ミリ、大戸観測所で174ミリ、時間雨量最大91ミリの雨

が観測された。午後4時30分過ぎから土石流が発生し始めたが、被災住民はそれぞれ安全な場所へ避難し、隣近所で高齢者の避難支援が行われ、立ち往生した車両や家の下敷きになった人が助けられるなど自助・共助が行われた。

復旧に関しては、国土交通省の緊急災害対策派遣部隊(JECSFORCE)に、被災箇所を調査いただき、特に危険度の高い14カ所は、砂防えん堤の設置を県で進められている。また、二次災害防止のための臨時の雨量計なども設置された。農地、水路、道路、河川も確実に復旧が進んでいる。

広島県土木局砂防課長

田村 毅



『昭和47年7月豪雨災害』

広島県では昔から大きな土砂災害が繰り返して起こっている。その中で、47年の豪雨災害は、相当の総雨量で大規模な土砂災害が多発したが、当時の被災状況がわかる貴重な記録が地元にも残されていた。

このような災害経験時の資料や記録を残していくことで、当時を知らな

『地域がつなぐ防災の輪』

一昨年の5月14日に自主防災組織を発足した。当初は、地域の現状が把握できていないことから、災害時の避難支援が必要かどうかを聞くアンケートを全戸に配布し、何度も役員会を重ね、これをまとめた。

その後、山口大学の滝本幸一准教授にお越しいただき、ワークシート作成に

よる災害危険箇所の把握、役員交代による活動の衰退なき継続、活動計画の策定と現地調査の実施、要支援者世帯の調査と支援内容の確認、の4項目の指摘を受けた。これを活動の目標として、役員会を重ねながらさまざまな取り組みを行った。常備・非常備消防と連携し、初期消火訓練や地域安全点検、パトロールや救命救急講習を通して、消防・防犯・救命の意識高揚を

図ってきた。それでもまだまだ課題が多いので、小さなことからできることをやり、わからないことを減らしていきたい。今年3月には地域内の消火栓や防火水槽の設置場所を把握し防災マップへ追加した。消火器を使った消火訓練や、各家庭でできる防災グッズの備えなどにも取り組んだ。

今後は、市全体の活動につながるよう、さらなる活動を継続していきたい。

事例報告

東城町川西下
自治振興区長

赤木 初男





ゲスト
冠 二郎



ゲスト
神野美伽

NHKラジオ第1

**ふるさと自慢
うた自慢**

公開録音



NHK広島放送局と庄原市は、「ふるさと自慢うた自慢」の公開録音を行います。
観覧をご希望の方は、次の要領でお申し込みください。

- 1 主催**
NHK広島放送局、庄原市

2 と き
9月14日(金)
開場／17時
開演／17時40分
終演予定／20時15分

3 ところ
庄原市民会館
(庄原市西本町2丁目17-15)
☎0824-72-4242

4 出演
○ゲスト／冠二郎・神野美伽
○地元出演者の皆さん

5 司会
今城和久アナウンサー

6 観覧申し込み
入場は無料ですが、入場整理券(1枚で2人まで入場可)が必要です。郵便往復はがきに必要事項を明記してお申し込みください。

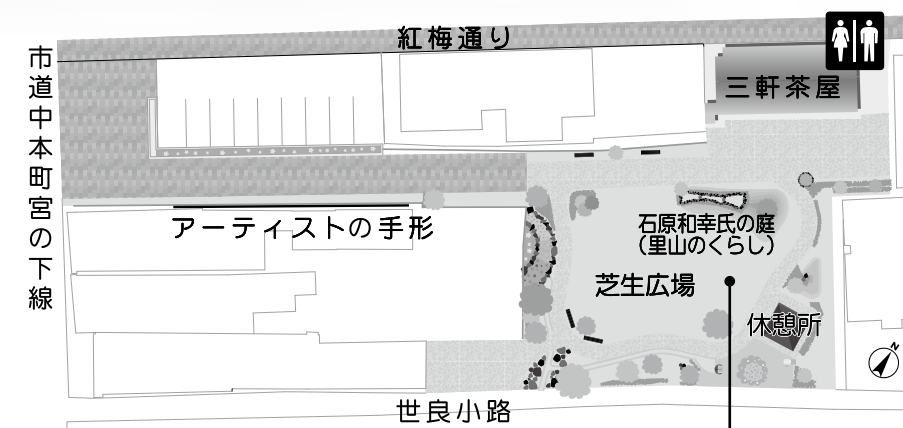
【記入事項】
(往信用裏面)
①郵便番号②住所③名前④電話番号
(返信用表面)
①郵便番号②住所③名前
●あて先
〒727-0013
庄原市西本町2丁目17-15
庄原市民会館「ふるさと自慢うた自慢」係
●締め切り
8月22日(水)必着

- ※1歳以上のお子さまから入場整理券が必要です。
※応募多数の場合は抽選のうえ、当選・落選の結果を8月30日(木)頃に発送します。
※インターネットオークションなどでの転売を目的としたお申し込みは固くお断りします。売買を目的としたお申し込みであると判明した場合は抽選対象外とさせていただきます。

7 放送予定
【ラジオ第1・全国放送】
〈ふるさと自慢うた自慢〉
12月8日(土)16時5分～55分
〈ふるさと自慢コンサート〉
12月15日(土)16時5分～55分
※放送予定は変更になる場合があります。

8 問い合わせ
庄原市民会館
☎0824-72-4242
(9時～17時)
NHK広島放送局
☎082-504-5218
(土日祝除く／9時30分～18時)
- ※ご応募の際にいただいた情報は、抽選結果のご連絡に使用します。
なお、NHKでは受信料のお願いに使用することがあります。

昨年度から整備を進めてきた「紅梅通りまちなか広場(以下まちなか広場)」が7月9日(月)にオープン。
庄原地域の中心市街地には、これまで市民が身近に利用できる公園や地域の交流を図るための行事などができるオープンスペースがありませんでした。
まちなか広場は、まちなかに賑わいの核を形成することを目的に整備した「紅梅通り三軒茶屋」(平成21年)、「紅梅通り」(平成22年)と一体的に利用してもらうことで、魅力ある空間になると考えています。九日市など市民の皆さんの積極的な活用で、多くの交流が生まれることを期待しています。



まちなか広場の概要

広さは1,380㎡。石畳風の園路の奥にはオープンスペースの芝生広場があり、周辺にはモミジ類・うめ類・クスギなど疎林風の植栽を施しています。また、小休憩のできる東屋やベンチ、水飲み場を配置し、夜間照明やイベントなどで使用できる外部電源を設置しています。

見どころ 1

庭園”里山のくらし”

英国チェルシーフラワーショー2012で金メダルとベストガーデン賞を受賞した、世界的な庭園デザイナー石原和幸さんがデザイン。



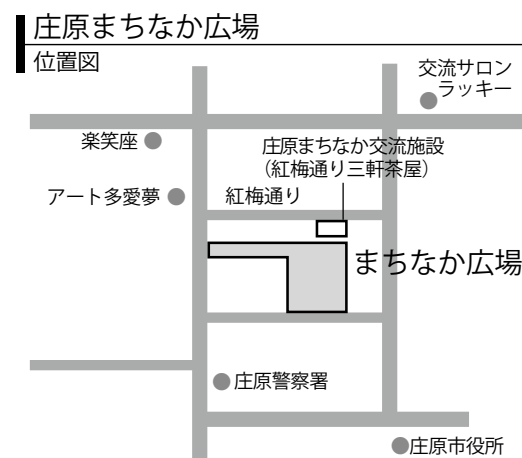
しょうばら花会議のメンバーと一緒に行われた庭造りのようす。



見どころ 2

アーティスト手形について

国営備北丘陵公園には、平成7年4月の開演以来、セツトストック・野外ライブに多くのアーティストが訪れて、手形を残していただいています。まちなか広場には、出演者の中から、『浜田省吾』・『ミスターチルドレン』・『ドリームズ・カム・トゥルー』の手形を展示しています。





本年度の保険料は
月額14,980円です。

保険料の免除制度をご存知ですか？

保健医療課国保年金係
三次年金事務所
☎0824-73-1158
☎0824-62-3107

経済的な理由などで国民年金保険料を納付することが困難な場合には、申請により保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「若年者(30歳未満)納付猶予制度」があります。

もし、保険料が未納の状態では、障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金を受け取ることができない場合があります。必ず保険料を納めるか、納めることが困難な場合には免除・猶予の申請をしましょう。

国民年金



申請に必要なもの
○年金手帳
○印鑑(本人が自署する場合は不要)
申請窓口
保健医療課国保年金係、各支所市民生活室または三次年金事務所

今月から申請を受け付けています
本年度は7月1日から受け付けを開始しています。審査は、前年中の所得をもとに行われ、今月から平成25年6月までの期間が免除・猶予の対象となります。

平成23年度に免除または猶予されていた方も6月末で承認期間が終了していますので、引き続き免除や猶予を希望する場合は、改めて申請が必要です(継続審査対象者は除く)。

※失業・災害などの特別な理由により免除を希望する方は、特例による免除審査を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

こんなに違う！納付・免除などと未納

		納付	全額免除	一部納付(一部免除)	若年者納付猶予	未納
障害基礎年金 遺族基礎年金	受給資格期間には	○入ります	○入ります	○入ります	○入ります	×入りません
	受給資格期間には	○入ります	○入ります	○入ります	○入ります	×入りません
老齢基礎年金	年金額の計算には	○算入されます	○免除区分に応じた割合で算入されます	○免除区分に応じた割合で算入されます	×算入されません	×算入されません

※注意!! 一部納付を承認された場合は、減額後の保険料を納付しないと『未納』という扱いになります。



比和産十割そば打ち体験



めぶき交流会と
カンナ残丘ウォーキング

昨年11月末に閉幕した「庄原さとやま博」では、さまざまな体験メニューが開発され、好評なメニューがいくつも生まれたこともあり、閉幕が近づくにつれ、多くの参加者から「今後も体験メニューを継続してほしい」との意見が寄せられました。

その声を受け本年度は、「next庄原さとやま博」もつとステキに輝き体験メニューとして、庄原市観光協会により引き続き体験メニューを企画・実施しています。

5～6月には伝統文化や郷土食・自然を「神秘比婆」というテーマで、4年に1度の伝統芸能「比和牛供養田植」(5月27日開催)に合わせた地域連携イベントを企画。ヒゴタイの会と三河内地域自治会が共催した「めぶき交流会とカンナ残丘ウォーキング(6/16)」をはじめ、「比和産の十割そば打ち体験(5/29)」や「吾妻山で植物(細密画)」を描こう！(6/11)など4メニューが実施されました。

『吾妻山で植物(細密画)』を描こ



細密画を描こう

今年度は、夏は「eco涼 健やか夏気分」をテーマにした体験メニューを企画しており、『グリーンシャワーを浴びながら高野を探索しよう』『トウモロコシのもぎ取り体験』など、6メニューが実施される予定です。

今年度の夏は「eco涼 健やか夏気分」をテーマにした体験メニューを企画しており、『グリーンシャワーを浴びながら高野を探索しよう』『トウモロコシのもぎ取り体験』など、6メニューが実施される予定です。

商工観光課観光振興係 ☎0824-73-1179

next庄原さとやま博 もつとステキに輝き体験 体験メニュー実施中！



う！』には、広島市、福山市、府中市などから12人が参加。森林生態調査研究所理事長の伊藤之敏さんを講師に、吾妻山の山野草を観察し、植物の細密画を描きました。参加者は「花が好きで見て歩くことは多いが、細密画を描くことによって、より詳しく植物を観察することができた」「たくさんさんの草木の名前を由来から説明してもらえて分かりやすかった」と話すなど、開催した体験メニューはいずれも好評を得ています。

体験メニュー集中開催へ向けた準備が始まっています
昨年11月以来2回目となる体験メニュー主催者交流会が6月13日に開催され、主催者の皆さんと今後の本格的な体験メニュー実施へ向けた意見交換が行われました。市観光協会は、交流会での意見をもとに、今年の秋は体験メニューを集中開催し、「next庄原さとやま博」の目玉として庄原市を市内外に広くPRしていく予定です。今後も体験メニューを通して市民の皆さんと参加者が交流し、庄原の良さを楽しむことができる「ステキな場」を提供していきたいと考えています。

体験メニューに関する
問い合わせは
庄原市観光協会まで
☎0824-75-0173
ホームページアドレス
<http://shobara-info.com/>



交流会の様子

庄原市成人式

本年度の成人式を次のとおり行います。
 新成人の皆さんの参加をお待ちしています。

また、新成人を祝いたい市民の皆さんもご参加ください。

とき 8月15日(水)

【受 付】9時30分～

【式 典】10時～

【記念行事】10時35分～

林 英哲講演会

(和太鼓奏者…東城町出身)

【記念撮影】11時35分～

ところ 庄原市民会館

対象者

平成4年4月2日から平成5年4月1日の間に生まれた、市内在住または庄原市出身の人。

申し込み

対象者には、7月中旬に案内状を送付します。

ただし、次に該当する人には案内状が送付できませんので、生涯学習課または各教育室へ事前に申し込みください。

○庄原市に居住しているが、庄原市に

住民登録をしていない人

○庄原市の出身で、庄原市以外に住

民登録をしている人

○7月1日以降に、庄原市に転入(住民登録)する人

祝賀パーティ(成人式実行委員会主催)

時間 12時30分(成人式終了後)～

会場 庄原グランドホテル

参加費 3千円程度

その他

西城町・東城町・口和町・高野町・比

和町・総領町から無料送迎バスの運行を予定しています。

問い合わせ

生涯学習課社会教育係

☎0824-73-1188

Eメール syogai-syakai@city.

shobarahiroshima.jp

または各支所教育室



24年度の新規助成対象研究課題を決定

庄原市県立広島大学
研究開発助成事業

企画課政策推進係
☎0824-73-1112

地域活性化に向け

新たに2件を採択

市は、平成17年度から県立広島大学の研究者が所有する知的資源と地域資源を活用し、研究成果を商品化・事業化に結び付け、地域活性化を図る研究に対して助成する「県立広島大学研究開発助成事業」を実施しています。

本年度は、新規助成対象研究課題として、次のとおり2件の課題を採択しました。

今後も引き続き、研究成果を研究担当者やしょうばら産学官連携推進機構と連携しながら、地域活性化や新産業創出に向けて取り組みを進めます。

◆平成24年度助成対象研究課題

研究課題の内容	研究者氏名
パンブーマッシュ(ヒラタケ)の栽培法確立とその成分分析	生命環境学部環境科学科 森永 力 教授
竹を食用きのこの栽培培地として有効利用する栽培方法を確立し、機能性食品としての新規きのこの開発を目指す。新たな機能性食品としてのきのこ生産を実現させることで、竹の伐採を積極的に促し、森林保全にもつなげていく。	
庄原市域に産する希少山野草の保護増殖に関する研究	生命環境学部生命科学科 入船 浩平 教授
ヒゴタイ(キク科植物)の組織培養による増殖技術(クローン増殖)の条件を確立し、増殖株を自然の状態に近い形で植栽・展示を目指す。庄原市域の「花」をテーマにした地域おこし活動と連携した観光事業化、切り花生産のシステム構築にもつなげていく。	



わたしたちが進める
「市民が主役」のまちづくり!
シリーズ No.4
自治振興課
まちづくり定住推進係
☎0824-73-1257

【基本原則】

第4条 まちづくりは、次に掲げる基本原則に沿って進めるものとします。

① 参画の原則 意思決定、活動および評価のそれぞれの過程において、市民が自主的に参画すること。

② 協働の原則 自助、共助、公助の考え方を前提として、協働すること。

③ 情報共有の原則 積極的な情報提供により、情報を共有すること。

④ 人権尊重の原則 性別、年齢、国籍などにかかわらず、市民一人一人の人権が尊重され、その個性や能力が十分に発揮されること。

⑤ 男女共同参画の原則 男女が対等な立場で参画すること。

【解説】

第4条では、各主体がまちづくりに取り組む際の基本原則を記述しています。

基本原則は「共通して適用される基本的な決まり」を意味しますので、この5つは、まちづくりの企画、実施、評価、見直しなどの過程で、特に尊重されなければなりません。

協働の原則にある「自助、共助、公助の考え方」とは、課題解決に際し、「自分で行うことは自分で、自分だけでは困難なことは地域の助け合いで、地域や民間の力でも困難なことは公的な支援で」という発想を意味し、補完性の原理とも呼ばれています。

情報共有の原則では、各主体が持つまちづくりに関する情報を互いに共有することが、参画と協働のまちづくりの要素であると考えています。

人権尊重は、憲法にも規定されていますが、市民が主役のまちづくりを進めるためにも重要と考えています。

また、男女の視点や感覚の違いなどを、参画と協働のまちづくりに活用することが重要であると考えており、男女共同参画を基本原則のひとつとしています。



私にもできる
獣害対策
シリーズ
林業振興課 ☎0824-73-1124

● 獣害・守れる集落の作り方

その3 潜在的な場所をなくそう

初回は、獣害の原因が「あなたの餌付け」、対策は餌付けをやめたいだけ、というお話でした。また前回は、柵などの努力が逆効果になってしまいう「守れぬ畑」と、そうならない「守れる畑」の話、でしたよね。

そして今回は、餌付けを進めるもうひとつの条件、潜み場の話です。

良い餌場を見つけた動物は、近くに隠れ家になる潜み場があると、子育てまで始めます。そうならないために、潜み場になりやすい竹や樹木の話、を早速始めますね。

① 竹林

密生した竹林は格好の潜み場です。家の隣りにそんな竹林があると、テレ

ビの音まで平気なイノシシが育ちます。家や畑から10メートル以内は見通しが利くように間伐してください。竹林は11月が切り時ですが、見通しの利く竹林にしたいだけなら、いつ切っても構いません。腰の高さでどんどん切ってください。残す目安は2〜3平方メートル一本。乾いて軽くなつてからその場に倒します。切るときは必ず節上です。節間でなんか切ろうものなら、やぶ蚊の大群が押し寄せますよ。

② 庭木・雑木

優先的に切つてほしいのは、クワ、ビワ、ヤマモモ、シバグリ、イヌビワなど実のなる樹木。クヌギやカシなどドングリになる木も忘れずに。

切ったあと切り株から新梢が伸びては意味がないですから、ひざの高さくらいで切り、古い肥料袋をかぶせて縛っておきます。頑張り過ぎて皆伐して雑草で餌付けしちゃダメですよ。



17 2012.7



今年の夏も市内各地のまつりに出かけよう！

8月に入ると各地で恒例の夏祭りが目白押し。
今のうちから要チェック！しっかりスケジュールを確認しておこう！

七夕まつりinふるさと高野

子どもみこしを先頭に、七夕行列が新市商店街を練り歩きます。昔懐かしい雰囲気祭りが楽しめます。約150発の納涼花火大会が見どころです。

- と き 8月4日(土)19時～
- ところ 高野町新市市街地、ふれあい広場
- 問い合わせ 備北商工会高野支所
☎0824-86-2011

ふるさと盆踊り・花火大会in比和

会場近くを流れる比和川沿いに700個余りの灯ろうが設置され、幻想的な光で辺りを照らします。ミニゲームや盆踊りの後、花火が比和の夜空を飾ります。

- と き 8月15日(水)19時～21時30分
- ところ 比和中学校グラウンド
- 問い合わせ 盆踊り花火大会実行委員会
(備北商工会比和支所)
☎0824-85-2330

総領夏祭り

自治会や地域団体による夜市やステージイベント、打ち上げ花火(75発)など、総領町で楽しい夏の一夜をお楽しみください。

- と き 8月4日(土)
- ところ 総領健康福祉センター前芝生広場
- 問い合わせ 里山を楽しむ町イベント実行委員会
☎0824-88-3065

東城「遊夏祭」

東城の夏の風物詩、山間に響く1,000発の花火は見ごたえあり！伝統の盆踊りも継承しています。ステージショーをはじめ楽しい催しが盛りだくさんです。

- と き 8月12日(日)15時～
- ところ 東城小学校グラウンド
- 問い合わせ 東城「遊夏祭」実行委員会
(東城町商工会内)
☎08477-2-0525

ヒバゴン郷どえりゃあ祭り

西城川の清流を照らすたくさんの灯ろうと、対岸から打ち上がる花火の共演は見どころ。どえりゃあパレードや子ども抽選会、そのほか楽しい催しがいっぱいです。

- と き 8月13日(月)13時～22時
- ところ 西城町市街地
- 問い合わせ ヒバゴン郷どえりゃあ祭り実行委員会(備北商工会本所)
☎0824-82-2904

第32回庄原ふゆとこ祭

庄原の夏を締めくくる一大イベント。25日夜の恒例パレードでは、出演団体の熱き踊りが観衆を魅了します。特設ステージやバザー、芸能祭など各種イベントが盛りだくさんです。

- と き 8月25日(土)・26日(日)
- ところ 庄原市街地、メイン会場庄原小学校ほか
- 問い合わせ 庄原ふゆとこ祭実行委員会
☎0824-72-7460

ひょうばら夏まつり花火大会

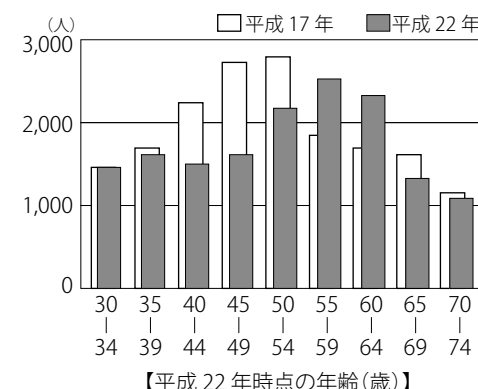
3,000発の花火が、庄原の夜空を華やかに彩ります。水面に映る仕掛け花火もみどころです。

- と き 8月26日(日)19時30分～
※雨天の場合は27日(月)に順延
- ところ 上野公園
- 問い合わせ 庄原市観光協会庄原支部
☎0824-73-0602



年齢別就業者数の変化

出典：国勢調査



【平成22年時点の年齢(歳)】

事業所の皆さまには、本年2月に実施した平成24年経済センサス活動調査で、調査票の記入・提出にご協力いただきありがとうございました。
これにより、市内すべての産業にわたる経済活動の実態が明らかに、これからの産業振興や商工業活性化などの取り組みに生かされます。
本年度も次の統計調査が実施される予定です。調査対象となる方には調査票の記入などお手数をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

平成24年工業統計調査

わが国の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的としています。全国約47万世帯に住む15歳以上の世帯員約100万人を対象に、普段仕事をしているのかどうかや就業に関する希望などを調査します。
この調査は、本年10月1日現在で実施されます。

わが国の工業の実態を明らかにすることを目的としています。全国の製造業を営む事業所を対象に、1年間の生産活動に伴う出荷額や原材料使用額などを調査します。
この調査は、本年12月31日現在で実施されます。

調査員として調査活動に従事していただける人を探しています。
調査員の仕事に興味のある方は、企画課までご連絡ください。

平成24年就業構造基本調査

空き巣に注意！

今年に入り、空き巣などの侵入窃盗が8件発生しています。侵入された個所は、ほとんど施錠されていない玄関や窓からです。外出時や夜間は、確実に鍵を掛けるようにしましょう。

小・中学校に入った泥棒を逮捕しました

庄原警察署は、夜間に小学校と中学校に侵入し、デジタルカメラなどを盗んだ犯人を5月10日に逮捕しました。

防犯カメラを設置しませんか

庄原警察署では防犯カメラの設置を推奨しています。泥棒に入らないために、あるいは入られた際に犯人を逮捕するためにも防犯カメラは非常に有効です。
防犯カメラ設置についてご質問などありましたら、庄原警察署生活安全刑事課までお問い合わせください。

安心・安全な毎日のために

庄原警察署 ☎0824-72-0110

7月11日(水)20(金)は「広島県夏の交通安全運動」の間です

- 運動の重点項目は4つ
- 高齢者と子どもの交通事故防止
- 歩行者、自転車利用者の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶
- すべての座席シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

平成24年広島県交通安全スローガン
『いそいでも かならずかくにん みぎひだり』



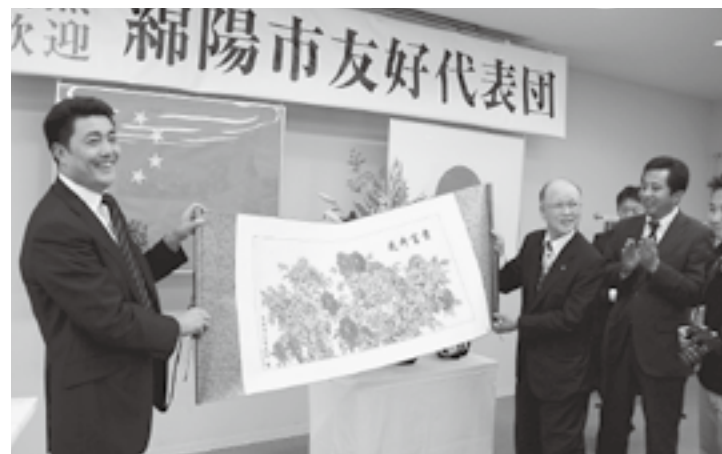
6月1日、友好都市として交流を続けている中国四川省綿陽市から友好代表団10人が来庄しました。
代表団は滝口季彦市長を表敬訪問し、団長で綿陽市人民政府の林書成市長が「この素晴らしい季節に庄原の皆さんにお会いし、自然と人の暖かさに触れることができ、大変うれしく思う。今後も両市の友好交流が一層発



固い握手を交わす林市長と滝口市長

企画課

両市の友好交流の一層の発展を
綿陽市友好代表団が来庄



展するよう努力したい」とあいさつしました。
また、今後の観光交流などについて意見交換を行い、その後は、歓迎夕食会で市内関係者と懇親を深めました。
なお、7月30日(月)～8月2日(木)にかけて綿陽市青少年代表団が本市を訪れ、11月には庄原市友好訪問団が綿陽市を訪問する予定です。

市役所の閉庁時間が変わります

10月1日(月)から市役所(支所を含む)の閉庁時間を、現行の17時30分から17時15分に変更します。

総務課人事秘書係 ☎0824-73-1125



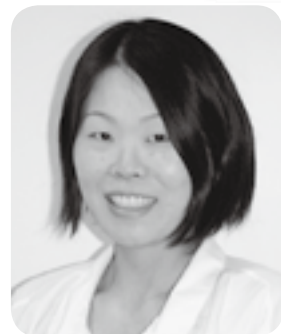
災害廃棄物の
取り扱いに関する
市の方針について

東日本大震災により発生した災害廃棄物の広域処理について、安全が確保された場合は、県などと連携し、積極的に受け入れる考えです。
現在、安全に関する技術的な課題の検討を行っており、整理ができしだい、市民の皆さんにお知らせします。

健康ひろば

KENKO HIROBA

今年の夏も
「熱中症」に注意!



東城支所市民生活室
保健師 友澤増美

熱中症の発生は、梅雨の合間に突然気温が上昇した日や梅雨明けの蒸し暑い日など、身体が暑さに慣れていないときに起こりやすくなります。

日常生活の中では、散歩中やバス停でのバス待ちなど屋外で発症するほかに、室内での家事、飲酒などでも発症し、屋外よりも屋内での発症が多くなっています。
また、男性では、10代～70代の幅広い年齢層で発症し、女性では、10代(スポーツ)と70～80代(日常生活)で多くなります。正しい知識を持ち、適切な対処の仕方を知っていれば、熱中症を防ぐことができます。
熱中症の予防を心がけ、楽しく安全な夏を迎えましょう。

予防するためには?

■暑さを避ける

気温や湿度が高いときは、屋外での長時間の活動は避け、帽子や日傘などで直射日光が当たらないように工夫しましょう。屋内にいるときも気温や風通しに気を付け、すだれや打ち水で暑さを和らげることも効果的です。

■しっかりと水分補給する

脱水状態になることを防ぐために、運動や作業の前に水分補給し、運動中や作業中にも屋内・外を問わず、小まめに水分をとりましょう。汗をかいたときには、塩分も補給できるスポーツドリンクが有効です。

■服装に気を付ける

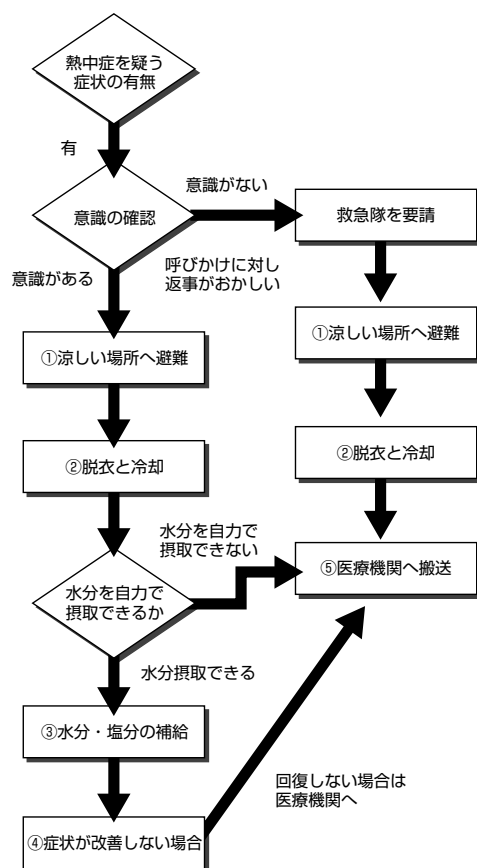
吸湿性や通気性のよい素材で、ゆつたりとした風通しのよい衣類や、熱を吸収しにくい白色系の衣類を選びましょう。

■体調を整え体力を維持する

休養と睡眠を十分にとり、ミネラルやビタミンを含む、野菜類や海藻類などをたくさん食べましょう。また、疲労回復のために、たんぱく質を積極的にとりましょう。

熱中症かなと思ったら

軽い症状であっても急に重症になることがあります。命にかかわることもありますので、熱中症が疑われる場合はすぐに体を冷やし始めてください。



熱中症を疑う症状とは...

- めまい・失神
- 筋肉痛・筋肉の硬直
- 大量の発汗
- 頭痛・気分のお不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感
- 意識障害・けいれん・手足の運動障害
- 高体温

熱中症の主な応急処置

- 風通しのよい日陰や、冷房の効いている場所に移動する
- 着衣をゆるめ、体を楽にする
- 冷やしたタオルを脇の下や足の付け根に置き、体を冷やす
- 自分で飲めるようなら、食塩水かスポーツドリンクを飲ませる

水夢から交流と学びの贈りもの

第1回レガロフェスタin水夢

 **REPORT 4**


▲アクアエクササイズ

西城温水プール水夢を地域住民の健康維持や体力づくりに役立ててもらおうと6月3日、「第1回レガロフェスタin水夢」が開催され、200人を超える参加がありました。

館内では、ヒップホップダンスやアクアエクササイズ、県立広島大学庄原キャンパス水泳部によるパフォーマンス

ス、住民も参加してのベビースイミングなどが行われ、館内は歓声と拍手が響いていました。そのほか、アロマオイル作り体験や庄原消防署西城出張所による水上安全教室なども開催。また、水夢横の芝生広場では「水夢バザール」が設けられ、西城ならではの食のもてなしが大好評でした。

実行委員長の堂本時和さんは「レガロとは贈り物という意味。交流し水に触れ合う楽しみを水夢からの贈り物として届けられた。水夢を幅広い交流と学びの拠点にしていきたい」と話していました。



▲水夢バザール

まちづくりへの期待を胸に渡り初め

比和まちなか大橋開通

 **REPORT 5**


▲園児たちも渡り初め

た。たくさんの拍手に包まれての開通となりました。「比和まちなか大橋」は総延長27.5m、全幅10.25m。生活面での利用だけでなく、福田頭やあけぼの荘へ

国道432号線から西城町を結ぶ県道西城比和線「比和まちなか大橋」が5月31日に開通し、渡り初め式が開催されました。

当日は、完成を待ちわびていた多くの地域住民が式典に参

加。観光客をいざない、新たなまちづくりへの架け橋として期待されています。

橋を訪れた比和保育所園児21人も、橋の手前の交差点で交通ルールの講習を受けた後、渡り初めに参加。「新しい道のおいがする」「きもちいい」と感想を話しながら、真新しいアスファルトの感触と橋から見える比和川の景色を楽しみました。



旬をおいしくいただきます

山の幸・野の幸を味わう会

 **REPORT 6**

総領の旬を味わう「山の幸・野の幸を味わう会」が5月15日、総領健康福祉センターで開催され、町内から18人が参加しました。

これは、地産池消を進めている地元のグループ「旬菜食堂グループ」が、地元食材とそれを有効活用する方法を広く知ってもらおうと開催したものです。

当日は、総領産のたけのこやふき、ぜんまいなど13種類の旬な食材を使って、煮物、和え物、茶碗蒸しをみんな

で調理しました。

参加者は出来上がった料理を味わいながら、「山菜を



▲楽しく調理する参加者の皆さん

山に触れ、山を知り、山を楽しむ一日

ひろしま「山の日」県民の集い

 **REPORT 1**


▲クラフト教室を楽しむ親子

第11回ひろしま「山の日」県民の集いが6月3日、県内11会場で開催されました。

これは広島県が主催するイベントで、6月の第1日曜日を「ひろしま「山の日」」として、山の手入れや体験型の多彩なプログラムを取り入れた集いを毎年行っています。

庄原会場となった「板橋さとやま学びの森」では、地元の板橋一心太鼓と永江太鼓の競演を皮切りに、木を使っ

たコマやネックレス作りなどが楽しめる森のクラフト教室、NPO法人七塚原自然体験活動研究センター理事長の西村清巳さんによる野草の自然観察会などが行われました。

また、ペレットストーブやペレット調理器具の展示が行われ、その調理器具で焼いたピザが来場者に振舞われました。

参加者は「よく手入れされた森林の中で心地よい1日が過ぎた」と喜んでいました。

また、ペレットストーブやペレット調理器具の展示が行われ、その調理器具で焼いたピザが来場者に振舞われました。

参加者は「よく手入れされた森林の中で心地よい1日が過ぎた」と喜んでいました。



▲自然観察会のようす

糰づくりのプロがレシピを伝授

古式の農事で塩糰づくり体験

 **REPORT 2**


▲塩糰づくりに挑戦する参加者

『糰屋熊本さんに教わる糰レシピ体験』が5月30日、食彩館しょうばら ゆめさくらで開催されました。

これは、昨年開催された「庄原さとやま博」の体験メニューを「next庄原さとやま博 もっとステキに輝き体験」として新たにメニュー化し、昨年度から継続の“古式の農事”企画として実施されたものです。

この日は、福山市などから16人が参加し、この道60

年の経験をもつ「熊本糰店」熊本洋子さん(川北町)から、いま話題の塩糰や甘酒、即席糰味噌づくりを教わりました。また、糰を使った漬物や炒めものなどの試食会も行われました。

参加者は「すぐに家庭で実践できるように教えてもらった」「熊本さんの説明がとても分かりやすかった」と喜んでいました。

熊本さんは「糰づくりを通して参加者の皆さんと楽しく交流できたことが良かった」と話していました。

参加者は「すぐに家庭で実践できるように教えてもらった」「熊本さんの説明がとても分かりやすかった」と喜んでいました。

熊本さんは「糰づくりを通して参加者の皆さんと楽しく交流できたことが良かった」と話していました。



上達の道はあきらめずチャレンジ

フライングディスク教室

 **REPORT 3**

口和町福祉協会が主催する第1回フライングディスク教室が5月24日、口和自治振興センターで開催されました。

フライングディスクは直径約20センチの円盤状のディスクを投げてゴールしたり、投げたディスクの距離を競ったりと、いろいろな競技があり、正確にディスクを投げることで求められる競技です。

町内から参加した7人は、スポーツ交流センターおりづるの指導員から、ディスクの投げ方や、ゴールを通過させるコツなどを教わりました。5〜7m先の直径91.5cm

のゴール枠を通そうと何度もチャレンジ。初めはディスクが左右に流れ、なかなかゴールできませんでしたが、繰り返しチャレンジし徐々に上達。ゴールしたときには笑顔がこぼれていました。

参加者は「久しぶりに体を動かした、いい汗をかけた。また参加したい」と汗をぬぐっていました。



▲投げ方のコツを学ぶ参加者

生活相談

身体障害者補装具判定会

〔肢体〕 7月19日(木)
受付 13時～14時
ところ 広島県三次庁舎第3庁舎2階
三次市十日市東4-6-1
※1週間前までに社会福祉
課障害者福祉係へ予約を。
☎0824-73-1210

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が
相談に応じます。

●庄原地域
とき 7月17日(火)・8月7日(火)
13時30分～16時30分
ところ 庄原市ふれあいセンター

●東城地域
とき 8月2日(木)
13時30分～16時30分
ところ 東城ふれあいセンター

●総領地域
とき 8月15日(水)
9時～11時
ところ 総領健康福祉センター

問い合わせ

三次人権擁護委員協議会
☎0824-62-2572

定期巡回児童相談

北部こども家庭センター
が子育てに関する相談に応
じます。

●庄原地域
とき 7月19日(木)・8月23日(木)
10時～15時
ところ 庄原市ふれあいセンター
※1週間前までに女性児童課
女性子ども支援係へ予約を。
☎0824-73-0051

●東城地域
とき 7月27日(金)・8月24日(金)
10時～15時
ところ 東城支所
※1週間前までに東城支所
市民生活室へ予約を。
☎08477-2-5131

障害者相談員定期相談会

◆〔庄原地域〕
○知的
とき 8月6日(月)
13時30分～16時30分
ところ 庄原市ふれあいセンター

◆〔比和地域〕
○身体・知的
8月7日(火)
9時30分～12時
ところ 比和自治振興会館
※事前予約もできます。
問い合わせ
社会福祉課障害者福祉係
☎0824-73-1210

健康相談

広島県北部保健所(三次
市十日市東)で実施する健
康相談です。事前に電話で
ご予約ください。秘密は厳守
します。

○心の健康相談
ストレス、うつ病などの心の
健康に不安のある方やその
家族からの相談に応じます。
とき 7月17日(火)・8月21日(火)
13時～14時
○エイズ検査・相談
検査は無料・匿名で受けら
れます。結果はその日にお知
らせできます。相談は随時
受け付けています。
とき 8月8日(水)13時～15時
申し込み・問い合わせ
広島県北部保健所保健課
☎0824-63-5181

スポーツフェスティバル

市民がスポーツ活動に親し
む期間として定着している「庄
原市スポーツフェスティバル」が
今年で22回を迎えます。
6月30日(土)～7月31日
(火)の約1カ月間、市内各
会場で20種目のスポーツ大会
やレクリエーション、体験講座
や体力チェックなどが行われ
ます。総合開会式は7月8日

催し

配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか？ あなたの不安な気持ちをお話してください。 〈〈家族や友人が心配という方もご相談できます。〉〉		
庄原市役所 女性児童課 女性子ども支援係		
☎0824-73-1243(月～金 9:00～17:00 年末年始・祝日除く)		
広島県西部こども 家庭センター	☎082-254-0391 休日夜間電話相談 ☎082-254-0399	月～金 10:00～17:00 月～金 17:00～20:00 土日祝 10:00～17:00
広島県北部こども 家庭センター	☎0824-63-5181(代) 内線 2313	月～金 10:00～17:00

（日）、庄原市総合体育館で
開催されます。
参加方法や競技種目など
詳しい内容は、お問い合わせ
ください。

問い合わせ

庄原市体育協会
☎0824-72-6880
生涯学習課スポーツ振興係
☎0824-73-1196

社会を明るくする運動
7月は強調月間です

この運動は、すべての国民
が、犯罪や非行の防止と罪
を犯した人たちの更生につい
て理解を深め、それぞれの立
場で力を合わせ、犯罪や非行
のない明るい社会を築こうと
する全国的な運動です。
本市でも、推進大会や街
頭啓発などの運動を展開し
ます。
とき 7月18日(水)
13時30分～15時
ところ 庄原市ふれあいセンター

内容

○法務大臣メッセージの伝達
○講演・街頭での啓発活動
問い合わせ
市民生活課生活安全係
☎0824-73-1154



将来の夢に向かって第一歩 高野中学校2年生が職場体験学習

REPORT 7



▲下高保育所で園児とふれあう

働くことの意義やこれからの自分の生き方を考えるこ
とを目的に6月6日～8日の3日間、高野中学校の2年生
18人が、飲食店、農園、消防署など町内9つの事業所で

職場体験をしました。

3人が職場体験した市役所高野支所で、健診事業の
補助や防災無線放送の収録などを体験した名越美穂さ
んは「同じ市役所支所でも室によって仕事の内容がまっ
たく違い、幅広い体験ができて勉強になった。将来の夢
を実現するために生かしたい」と意欲を見せていました。

高野中学校の石田拓二教諭は「今回の職場体験で、
働くことの意義や大変さ、継
続することの大切さを学ぶこ
とができたのでは」と話して
いました。

この職場体験学習は、引き
続き9月にも行われる予定です。



▲防災無線放送の収録を体験

地元の産業と自然に触れる 東城町いきいき体験学習

REPORT 8

東城町内の小学校全4校の5年生64人が5月10日、
11日の2日間、1泊2日の「いきいき体験学習」を行いま
した。

この体験学習は、町内の企業などの協力のもと18年
間続いている取り組みです。

初日は、千手寺などを訪れ、まちの歴史について学ん
だり、削岩機メーカーを訪れて部品を作る各工程を見学
したりしました。削岩機メーカーの見学では、社員の方か
ら機械の組み立て工程や製品について説明を受け、製
品が輸出され世界につながっていることを学習しまし
た。

東城小の岩田知弥くんは「機械が大きくて驚いた」と

声を弾ませていました。

二日目は、宿泊会場の休暇村帝釈峡周辺で早朝探鳥
を行い、国天然記念物「雄橋」などを見学しながらフィー
ルドワークを体
験しました。

児童たちは、
東城の自然の素
晴らしさと世界
に誇る産業に触
れ、より一層の魅
力を感じた2日間
になりました。



▲製造部品について質問する児童

夏山登山で絶景満喫 第42回吾妻山山開き

REPORT 9

吾妻山池ノ原で6月3日、第42回吾妻山山開きが行わ
れ、登山シーズンの幕開けを祝い、登山客ら約2,500人
が参加しました。

当日は、夏山登山の安全を祈願する神事式のあと、早
乙女が「県民謡バイ流し」や「比和音頭」など伝統の舞
を披露し、訪れた人々を楽しませました。舞の輪の中
には、飛び入り参加の観光客の姿も見られ、吾妻山が一
体となって初夏の訪れを祝いました。

また、各種バザーコーナーでは、「ヤマメ」や「漬け物」
など地元の特産品が並べられ、比和地域の味覚でおも

てなし。観光客も「きれい」「来年も来たい」と大満足の
山開きとなりました。



▲県民謡バイ流し

自衛官を募集します ～平和を仕事にする～

募集種目		応募資格	受付期間	試験期日
防衛大学校	推薦	高卒(見込み含む) ～21歳未満	9月3日～5日	9月29日・30日
	総合選抜		9月3日～5日	1次:9月29日 2次:10月20日・21日
	一般(前期)		9月3日～10月1日	1次:11月10日・11日 2次:12月11日～15日
	一般(後期)		H25年1月23日～2月1日	1次:H25年3月2日 2次:H25年3月15日
防衛医科大学校学生			9月3日～10月1日	1次:10月27日・28日 2次:12月5日～7日
航空学生			8月1日～9月7日	1次:9月22日 2次:10月13日～18日 3次:11月10日～12月13日
看護学生		高卒(見込み含む) ～24歳未満	9月3日～10月1日	1次:10月20日 2次:11月17日・18日
一般曹候補生		18歳以上 27歳未満	8月1日～9月7日	1次:9月17日 2次:10月4日～11日
自衛官候補生	男子		随 時	受け付け時にお知らせします
	女子		8月1日～9月7日	9月23日～26日の指定する1日

※待遇・給与など詳しくは、三次地域事務所にお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ
自衛隊三次地域事務所 ☎0824-62-0350 総務課行政係 ☎0824-73-1123

〔第3次試験〕
個人面接
受付期間
7月25日(水)～8月20日(月)
募集要項 備北地区消防組合の各消防署で直接受け取るか、備北地区消防組合のホームページからダウンロードしてください。
申し込み・問い合わせ
〒728-0012 三次市十日市中3丁目1番21号
備北地区消防組合消防本部総務課
☎0824-63-9573
ホームページ
http://www.119-bihoku.jp/
ベブースイミング教室

水のリラククス効果を利用した赤ちゃんとのスキンシップ、肺を鍛えてかぜ予防、保護者の体力維持とダイエットなど、効果抜群のベブースイミングを専門のインストラクターが楽しく指導します。
開催日 8月22日(水)・29日(水)、9月5日(水)・12日(水)・21日(金)・26日(水)※1回のみの参加も可。
10時30分～11時30分
ところ
西城温水プール水夢

対象 生後4カ月から3歳程度の子どもとその保護者
参加費 プール利用料のみ300円(未就学児童は無料)
申し込み方法 各開催日の1週間前までに西城支所市民生活室または西城教育室へ申し込んでください。
その他 託児があります。希望する方は事前に申し込んでください。
問い合わせ
西城支所市民生活室
☎0824-82-2202
西城教育室
☎0824-82-2445

「備北のかがやき」秋冬編
8月下旬発行予定

庄原市三次市の広域観光に取り組んでいる備北観光ネットワーク協議会は、備北地域のイベント情報や観光施設や店舗情報などを掲載した「備北のかがやき秋冬編vol.7」の発行を8月下旬に予定しています。vol.6に引き続きスタンブラリーを開催しますので、備北地域の秋冬をどうぞお楽しみください。
現在、このパンフレットの広告掲載店舗を募集しています。(7月20日まで)

詳しくは、事務局までお問い合わせください。
問い合わせ
備北観光ネットワーク協議会事務局
☎0824-44-3855

その他
国民健康保険被保険者証(保険証)を更新します
現在ご使用の国民健康保険の保険証は、7月31日(火)で有効期限が切れます。
8月1日(水)から有効となる新しい保険証を7月下旬に簡易書留郵便で世帯主あてに発送します。8月1日以降に医療機関などで受診する際は、新しい保険証をお使いください。また、有効期限の切れた保険証は破棄してください。
なお、他の健康保険に加入している場合は、国民健康保険の資格喪失手続きが必要です。市民生活課戸籍住民係または各支所市民生活室で手続きをしてください。
問い合わせ
保健医療課国保年金係
☎0824-73-1158
または各支所市民生活室

人権啓発セミナー
とき 7月12日(木)
18時15分～
ところ
市役所1階市民ホール
講師
スティーブン・リーパーさん
演題 「非核平和について」
これまでの平和推進活動の経験やこれからの取り組みについて講演いただきます。
核兵器のない平和な世界を実現するために何ができるのか、みんなで考えてみましょう。
問い合わせ 総務課行政係
☎0824-73-1123

人権啓発パネル展
「子どもたちの平和ポスター展」
広島市内および海外の姉妹都市の小・中学生が平和をテーマに描いた絵画とポスターを展示します。この機会に平和な未来についてみんなで考えてみましょう。
とき
8月1日(水)～9日(木)
8時30分～19時
※最終日の9日(木)は13時まで。

ところ
市役所1階市民ホール
問い合わせ 総務課行政係
☎0824-73-1123

人権啓発映画上映会
市内7会場で映画「エンディングノート」を上映します。
娘が撮り続けた膨大な家族の記録。残された時間を前向きに生きようとする父と家族の姿。涙と笑いに包まれて、誰もが自分の家族に思いを寄せるあたたかな作品です。
●口和会場
7月25日(水)19時～
口和自治振興センター
●西城会場
7月26日(木)19時～
ウイル西城
●総領会場
8月1日(水)19時～
総領自治振興センター
●高野会場
8月2日(木)19時30分～
高野保健福祉センター
●東城会場
8月17日(金)19時～
東城支所
●庄原会場
8月18日(土)14時～
庄原市ふれあいセンター

●比和会場
8月21日(火)19時20分～
比和文化会館
問い合わせ
総務課行政係
☎0824-73-1123

庄原格致高等学校写真部
作品展 -Funder-
全国高等学校総合文化祭1席の実績を持つ写真部の12年間の作品の中から、傑作100点を展示します。
とき
7月23日(月)～8月26日(日)
ところ 時悠館
問い合わせ 時悠館
☎08477-6-0161

舞台劇
「ぶたさんとねずみさん」
劇団むうが、心優しいぶたと、がんばりやのねずみの友情と苦悩(?)を温かくユーモラスに演じます。人形と役者が一体になった心引き込まれる舞台をお楽しみください。
とき 7月13日(金)
18時40分開場 19時開演
ところ
庄原市田園文化センター
観賞券 前売り1千円

当日1千200円(4歳以上一律)
問い合わせ
女性児童課女性子ども支援係
☎0824-73-0051
WAKU×2する感動を親子で味わう会代表 石原春美
☎0824-73-0930

募集
消防職員採用試験
備北地区消防組合では、消防職員を募集します。
募集人員 若干名
受験資格 昭和63年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人。学歴・性別は問いません。
試験日
〔第1次試験〕
9月16日(日)9時30分～
〔第2次第3次試験〕
10月および11月の予定
試験場所
〔第1次試験〕
みよしまちづくりセンター
〔第2次第3次試験〕未定
試験内容
〔第1次試験〕
一般教養、消防適性検査A
〔第2次試験〕
集団面接、作文、体力検査

広告
住友不動産の“新築そっくりさん”
古民家に新たな息吹、美しき再生。
住友不動産
新築そっくりさん 広島東営業所
〒739-0011
東広島市西条本町7-29(林ビル1階)
TEL082-431-3525
FAX082-423-1751
復興支援住宅エコポイントが始まりました。
フリーダイヤルでお気軽にお問い合わせ下さい。
0120-356-218
http://www.sokkuri3.com/
新築そっくりさん で 検索

そっくりさんのブログさん
http://sok3nobiog3.com/
配信スタート!!
広島県・山口県内のみ新築そっくりさん情報をお届けします。最新情報、施工の様子、そっくりさんの実際の施工現場など掲載中です。

在宅高齢者家族介護慰労金
在宅介護を支援します

寝たきりなどの重度の介護を必要とする高齢者を、在宅で介護している方の負担を軽減するために、慰労金を支給する制度です。

次の要件すべてに該当する高齢者を在宅で介護している方は、所定の書類に必要事項をご記入のうえ、申請してください。

申請書類や手続き方法は、高齢者福祉課介護保険係、各支所市民生活室、または市内の居宅介護支援事業所にご相談ください。

在宅高齢者の該当要件
① 市内に住所があり、現に居住している人

② 要介護4または5の認定を受けている人
③ 在宅で介護を必要とする状態にある人

支給対象者
市内に住所を有する方で、要件①～③のすべてに該当する高齢者を、本年2月1日から7月31日の間、在宅で介護している同居のご家族など（主たる介護者）。

支給額
在宅で介護した月数に応じ、月額4千円を支給。（医療機関、介護保険施設などに月の初日から終わりまで入院、入所していた月は除く）

申請に必要なもの
○在宅高齢者家族介護慰労金支給申請書（居宅介護支

GO!GO!サマー! GO!GO!500,000,000! サマー史上最高額! 5億円 2000万×450本 Wサマー

サマージャンボ 2000万サマー

2012年市町村振興宝くじ 7月9日(月)発売

発売期間 7月9日(月)～7月27日(金)
抽せん日 8月7日(火)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

援事業者などの確認印が必要)
○口座振替依頼書(すでに提出している方は不要)

○印鑑
※申請書、口座振替依頼書は高齢者福祉課各支所市民生活室、市内の居宅介護支援事業所にあります。

申請期間
8月1日(水)～21日(火)
支給の時期
9月下旬(口座振込)

申請窓口・問い合わせ
高齢者福祉課介護保険係
0824-731167
または各支所市民生活室

バスの中内事故防止について
走行中のバス車内での事故を防止するため、「車内事故防止キャンペーン」が7月1日～31日まで実施されています。

走行中に席を離れると、転倒など思わぬケガをすることがあります。降車の際は、バスが停留所に着いて扉が開いてから席を立ちましよう。
また、バスは安全運転に徹していますが、やむを得ず急

ブレーキをかける場合があります。満席のため、立ったまま利用する場合には、つり革や握り棒にしっかりとつかまってください。

バスの中内事故防止にご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ
中国運輸局広島運輸支局
082-23319166
(社)広島県バス協会
082-26113238

あっぱれ 庄原 あっぱれ

出場者、全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

県大会など

広島県高等学校卓球選手権大会
(5月12日～13日・広島市安佐南区スポーツセンター)
●男子シングルス 優勝 中田 一也
(近大福山高3年・高町)
●男子ダブルス 優勝 中田 一也

(近大福山高3年・高町)
●女子ダブルス 準優勝 堀 美陽
(近大福山高3年・小用町)

広島県高等学校総合体育大会(卓球競技の部)
(6月2日～3日・広島県立みよし公園)

●女子学校対抗(団体戦) 優勝 堀 美陽
(近大福山高3年・小用町)
堀田真奈美
(近大福山高2年・上谷町)

【お詫びと訂正】
広報しようばら6月号の5ページで、庄原市民生委員児童委員協議会会長 森田一宜(かずのり)さんを、誤って(かずのび)さんと記述しました。訂正し、お詫びいたします。

く音楽は最高!言葉では言い表せない、会場全体の一体感を感じてみませんか?
チケット購入先 セブンイレブン(チケットぴあ)、食彩館しようばらゆめさくら
※イベントの詳細は、電話または公園HPでご確認ください。

9/22(土) 開演: 13時

前売券販売所 料金: 6,000円(税込)

ジョイフル(庄原ショッピングセンター)・庄原市民会館
ゆめさくら・ローソン各店・チケットぴあ(セブンイレブンサンクス各店)・eプラス(ファミリーマート各店)

◆賛助出演◆ 県北歌謡友の会・花柳銀扇会社中 ■主催/RCC中国放送

お問い合わせ/ソワード様 099-223-8005

東日本大震災復興チャリティー公演

絆

千昌夫・新沼謙治

広告 自宅葬儀は、庄原セレモニー葬祭サービスにお任せください

庄原セレモニー 葬祭サービス

24時間寝台搬送
自宅葬儀施工
会葬品・仕上げ膳

0824-72-1417

●ギフト商品(茶の子・記念品・香典返し・お中元)
●慶弔事料理(法要料理・祝い料理・会議用料理)

株 高木屋 0120-130-603

広告 一人で悩まないで まず相談してください。

業務のご案内

●不動産の名義変更 ●成年後見
●相続登記・遺言 ●会社の登記
●借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

司書士 飯田 一生 庄原 司法書士

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パルナシユB2階 TEL0824-72-2315(要予約)



人の動き

平成 24 年 5 月末日現在

【住民基本台帳登載人口】

人口 39,521人(前年比+653人)
男 18,758人(前年比+356人)
女 20,763人(前年比+297人)
世帯数 15,902世帯(前年比+104世帯)

【各地域の内訳】

○庄原地域 19,056人(7,747世帯)
○西城地域 4,059人(1,542世帯)
○東城地域 8,903人(3,756世帯)
○口和地域 2,259人(831世帯)
○高野地域 2,045人(698世帯)
○比和地域 1,634人(661世帯)
○総領地域 1,565人(667世帯)

【外国人登録人口】

○人口 325人(前年比+15人)



市税・水道料金・下水道使用料 納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。
※残高確認も忘れないでください。

- 税務課収納係 ☎ 0824-73-1145
- 下水道課管理係 ☎ 0824-73-1175
- 水道課庶務係 ☎ 0824-73-1197



市役所ロビーコンサート

園生涯学習課文化振興係 ☎ 0824-73-1189

と き 7月23日(月)12時15分～55分
ところ 市役所1階市民ホール
出演者 上西しんじ ほか5人
(ハワイアンバンド)

共演グループ

上西千加子ラブラリー・フラ・スタジオ
曲 目 ブルーハワイ、カイマナヒラ ほか

上西しんじ……大学時代からハワイアンバンドのメンバーとして活動が続ける。ハワイアンのほかラテン、タンゴ、ジャズなどあらゆるジャンルの膨大なレパートリーを誇り、ソフトで甘い声に定評がある。現在、中国新聞情報文化センターのカルチャー教室で講師を務める。

上西千加子ラブラリー・フラ・スタジオ……広島を中心に県内各所、中国新聞情報文化センターや自らのスタジオなどでフラダンス教室を展開している。

広報日記

「地域の人たちに必要とされ支持していただかなければ、我々の存在意義がなくなる」。特集で取材した岡下さんの言葉です。対談にもあるように、地域商店街型SCは地域と共にあり。SCの活性化はまちづくりそのもの。まさに、地域の方の参画による協働のまちづくりが鍵になりそうです。○



犬・猫の引き取り

園環境政策課 ☎ 0824-72-1398

7月・8月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。
なお、手続きには認印が必要ですので、持参してください。

	引き取り日	時 間	場 所
庄原地域	毎月第2・4水曜日 7月11日・25日	9:00～ 9:30	市役所車庫
東城地域	8月8日・22日	10:40～11:10	東城支所 正面駐車場

※飼い犬・猫の引き取りは有料です。



献血のご案内

園保健医療課医療予防係 ☎ 0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
7月20日(金)	ザ・ビッグ 庄原店	11時30分～15時
8月10日(金)	庄原市役所	10時～11時30分 12時30分～15時



ふれあい市長室の日程

園情報政策課広報広聴係 ☎ 0824-73-1159

と き 8月11日(土)9時～12時 ところ 東城支所
※公務により実施できない場合もあります。
※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当課へお願いします。



食育コーナー

園保健医療課 ☎ 0824-73-1255

毎月19日は『食育の日』

国は、6月を『食育月間』、毎月19日を『食育の日』と定めています。広島県では、10月19日を『ひろしま食育の日』として、食育活動に取り組んでいます。

しかし認知度はとても低く、市が庄原市食育計画策定時(H.21.3)に行ったアンケートで、毎月19日が食育の日だと知っている人はわずか5.6%でした。

『食育』はとても幅広く意味を捉えることができます。自分なりの食育を実践し、食事を楽しみましょう。

食を育む

自分の普段の食生活はどうですか?バランスはとれていますか?毎日3食食べていますか?

自分の身体をつくる「食」に関心を持ち、普段の食生活を見直し、生涯にわたって楽しめる食生活を目指して「食」を学び、「食」を育みましょう。

食で育む

旬の食材、地元の食材を使っていますか?自分の家の畑でできた野菜は栄養価の高いまま食べられます。同じ食事でもどんな食材を使うかで、味も歯ごたえも変わってきます。

毎日の食事をより豊かなものにする食生活を始め、健康な地域を「食」で育みましょう。

なかなか習慣は変えられないという方も、毎月19日を「家族そろって食事をする日」「ありがとう、いただきます、ごちそうさまなどの感謝の言葉を伝える日」にしてみませんか。

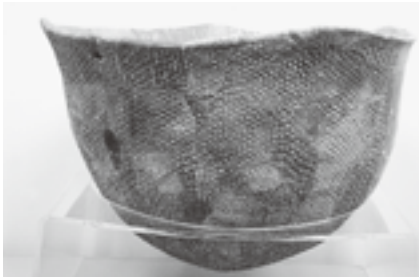


帝釈峡博物展示施設 時悠館

☎ 08477-6-0161

9時～17時 休館日:水曜日(祝日開館、翌日休館)・年末年始

底の尖った縄文土器



この土器は、今から約8,000年前の押型文土器(帝釈馬渡岩陰遺跡から出土)と呼ばれるものです。押型文土器は、縄文時代早期の中頃(約7,000～8,000年前)に西日本で広く作られていた土器です。押型文は、鉛筆のような棒に楕円(長円)や山形(ジグザグ)などの形を刻み、それを回転させて付けた文様です。いろいろな文様がありますが、楕円文と山形文が多く見られます。楕円文には、粒の大きさが3mm程度の小さなものから、1cm以上の大きなものがあり、時期が新しくなるにつれ大きくなっていきます。

この楕円文土器は口径が約40cm、高さが約30cmあり、ヘルメットを逆さにしたような形をしています。口縁には波のような4つの高まりがあり、波状口縁と呼ばれています。縄文土器にはよくありますが、後の弥生土器や土師器などにはない口縁の形です。底は、写真では丸いように見えますが尖っています。押型文土器の時期だけに見られる特徴的な底です。周りに石を置くか、穴を掘って据えたようです。なぜ尖った底にこだわったのかはわかりません。縄文時代早期の人々は、土器で煮炊きをする時、火のまわりを効率よくするために試行錯誤していたのかもしれません。



休日診療のご案内

7月・8月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

月 日	診療所名	電話番号
7月15日(日)	田淵医院	0824-72-3900
16日(月)	藤野医院	0824-72-4646
22日(日)	笠間医院	0824-72-0535
29日(日)	戸谷医院	0824-72-3131
8月5日(日)	庄原赤十字病院	0824-72-3111

●東城地域

月 日	診療所名	電話番号
7月15日(日)	瀬尾医院	08477-2-0023
16日(月)	こぶしの里病院	08477-2-5255
22日(日)	細川医院	08477-2-0054
29日(日)	東城病院	08477-2-2150
8月5日(日)	こぶしの里病院	08477-2-5255



市民ギャラリー「アート多愛夢」 情報BOX

★8月の展示案内★

第29回日本の自然写真コンテスト入賞作品展

8日(水)～10日(金)10時～17時
園庄原市文化協会事務局 ☎ 0824-72-5453
商工観光課商工振興係 ☎ 0824-73-1178
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はいりません。



食彩館しょうばら

ゆめさくら ☎ 0824-75-4411

【7月～8月のイベント情報】

▶ゆめさくら講座

○夏休み木工教室

～自然の恵みで“絵”をつくろう～ウェルカムボード、～懐かしい物づくり～竹とんぼ ほか
と き 7月21日(土)13時～15時、
22日(日)10時～14時、
8月18日(土)・19日(日)
10時～14時

参加費 300円※当日随時受け付け

○草木染め教室～服地になる布を染める～

と き 8月20日(月)
①9時～12時
②13時30分～15時30分

参加費 4,900円 定員各10人

▶展示・その他

○無人島キャンプ『不便・不足・不自由』は、生きる力のごちそう 写真パネル報告展
と き 7月16日(月・祝)まで

○土曜夜市 懐かしい屋台とゲーム

と き 8月4日(土)18時～21時

○中国物産展

と き 8月4日(土)～16日(木)



しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市

出店者募集中心!あなたのお店を開こう。
毎月20日が出店申込締め切りです。
申し込みは 交流サロンラッキー
☎ 0824-72-0075



と き 8月9日(木)9時～13時
ところ 中本町商店街周辺
(のぼりが目印)

詳しくはHPでhttp://kunchi-ichi.main.jp



(平成 24 年 5 月 13 日撮影)

Vol.36

心躍る虹色の帯



この日の午後、庄原作木線、濁川地域を走行中、ふと空を見上げるとそこには珍しい景色がありました。

一面を覆う雲の一部に隙間があり、その奥に虹のような光が。

初めて見る光景に心躍り、車道脇に車を止め、とっさに携帯電話で撮影しました。

雨上がりでもなく、太陽が顔をのぞかせているわけでもなく、もちろん虹が出ているわけでもありません。

言葉で表現するのが難しいのですが、雲の向こうに虹の世界を垣間見たような感覚でした。

小川 由佳(西本町)

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

応募先

〒727-8501

庄原市中本町一丁目10番1号

庄原市情報政策課広報広聴係

☎0824-73-1159

メール koho@city.shobara.hiroshima.jp

庄原産の食材を扱うお店を応援します！



おいしいものは
庄原市地産地消推進店
地元にある!!

やまびこ朝市販売所

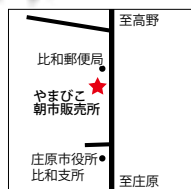
所 比和町比和 998-1

☎ 080-1915-7555

営 毎週水・日曜日 8:00 ~ 12:00

取り扱う市内産食材

野菜 (アスパラガス・トウモロコシ・ほうれん草など季節の野菜)・山菜 (路・アザミ・ワラビ・タキミズナなど)・加工品・漬物・米 (30%玄米・5%白米)・竹炭・ブルーベリージャム・米ぬかぼかし肥料

登録
第9号店

★常泰喜美江さんに聞きました★

●なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか？

販売している食材はすべて地元産です。米ぬかぼかしを使って少しでも化学肥料を抑えた野菜を食べていただきたいと思って登録しました。

●お店のこだわりは？

品数はあまり多くありませんが、地元産の商品の品質を落とさないように気をつけて販売しています。

特に、比和産の米(コシヒカリ 100%)を『やまびこ米』として販売しています。

●皆さんへひと言

宣伝をあまりしていないこともあり、知られていません。これを機に、ぜひドライブに来て立ち寄ってください。



地元産にこだわった品ぞろえ

『庄原市地産地消推進店』に登録しませんか？ 市は随時、地産地消推進店を募集しています。

詳しくは、保健医療課健康推進係 (☎0824-73-1255) まで。